

豊里幼稚園

豊里幼稚園の概要

本園は周りに田んぼが広がりどかな環境の中にあり、子どもたちは日々目の前に広がる稲の様子や風のおいを肌で感じながら0歳児から5歳児の子どもたちが生活し毎日乾布摩擦をした後、個々に合わせてグラウンドを走っています。8歳までに基本的運動のための神経回路がおおむね完成することを考え体力作りにも力を入れています。豊里げんきっ子太鼓、サッカー教室、体操教室、鼓笛、英語リトミック、跳び箱、鉄棒、巧技台、散歩など積極的に取り入れています。

太鼓は中丹文化会館で行われる「ドンドコ夏祭り」や地域で行われる「敬老会」「夕涼み会」など、鼓笛は「運動会」「豊里小中幼合同音楽フェスティバル」などで発表しています。幼児教育は、何かを教わるのではなく、子どもたちが遊びを通していろいろなものを感じたり、知ったりしていく、子どもが目を輝かせて遊べるような環境を用意することが大事。新しい要領や指針を作るとき、「非認知的能力」も大切にされました。わかりやすく言い換えると「我慢する」「粘り強さ」「積極性」ということですが、こうした力も教えることができるものではなくて、園で友だちとあそぶ中で身に付いて行くものです。アメリカの研修では非認知的能力があると、非行に走らないことも証明されています。

教育理念

地域の文化に触れながら一人一人を大切に一人一人の可能性を認め人や物との関わりを大切に豊かな心を育む。

めざす子ども像

- 友だちと心を通わせながら遊べる子
- 自分で考えて意欲的に行動できる子
- 感性が豊かで色々なものに感動する子
- 物を大切にする子
- 体力のあるげんきな子

保育時間

- 保育プラン 午前7時より午後7時（延長時間を含む）
- 1号認定 午前8時より午後4時
- ※土曜保育も利用できます。（2号認定・3号認定）
- ※園バスの運行をしています
- ※一時保育、園開放、障がい児保育にも専門機関と連携を取りながら力を入れています。

豊里幼稚園就学に向けての一貫教育 ～自主的に活動し友だちと協力し合い最後までやりきる力をつける子ども像～

- 1, 自分から元気に挨拶をする。
 - 2, 履き物を揃える。
 - 3, 名前を呼ばれたら相手を見て返事をする。
 - 4, 話を聞くときは話す人の目を見る。
 - 5, 床に座るときは三角座りをする。（2歳児から）
 - 6, 歌を歌うときは手を後ろにまわす。
 - 7, 廊下は走らない。
 - 8, 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。
 - 9, 掃除をする。（4歳児・5歳児雑巾がけ、草引き、掃き掃除）
 - 10, 最後まで一生懸命頑張る。
 - 11, 命を大切にす。
 - 12, 忘れ物をしない。
- 小学校、中学校と連携しながら就学前から義務教育9年間において系統的な「一貫」した教育を展開することを大切にす。

給食

- 月齢に応じた離乳食を作っています。（保護者の方に離乳食を見て頂きご相談を受けます）
- 手作りおやつ
- アトピー、アレルギーの子どもたちの除去食を一人一人にあったメニューで作っています。（ご相談下さい。）

主な行事

入園式、こどもの日の行事、誕生会、避難訓練、由良川花壇展植栽、丹の国まつり、給食参観日、親子遠足、家族参観日、祖父母参観日、七夕音楽祭、夕涼み会、ドンドコ夏祭り、お泊まり保育、豊里地区敬老会、運動会、生活発表会、市民合唱祭、クリスマス会、おもちゃつき大会、節分、作品展、アートフェスタ、市文化祭、ひな祭り、なかよし会、卒園式